

8月15日：VN指数は大引け間際に上昇

ベトナム株は木曜日に上昇して取引を終えた。押し目買いと、米中貿易対話の継続への期待が市場を後押しした。

ホーチミン取引所のVN指数は1.08%上昇し979.38ポイントで取引を終えた。直近二営業日での上昇幅は1.30ポイントとなった。

VN指数は反発前に1.36%ほど下落する場面があった。

木曜日の取引開始後には、世界景気の後退への懸念からベトナム株は下落したとMB証券は語る。

しかし、VN指数が955ポイント付近では買いが集まり、市場を上昇させることになったと報じた。

投資家は米中貿易対話に関する良いニュースを受けて、後場にかけて買い需要が高まった。

世界の株式市場は、米国の大統領と中国の首席が香港の状況と貿易対話を解決するための会議について言及したことから、世界株式は反発した。

大型株が市場を牽引した。

VN30指数は1.17%上昇し890.87ポイントで取引を終えた。30銘柄の内、19銘柄が上昇した。

大きく上昇した銘柄は、サイゴンビールアルコール飲料総公社(SAB)、ビナミルク(VNM)、ベトコムバンク(VCB)、ビンググループ(VIC)、モバイルワールドインベストメント(MWG)だった。それらの銘柄は2-3.5%ほど上昇した。

それらの銘柄の属するセクターも0.8-1.8%ほど上昇した。

流動性は前日よりも改善した。

出来高は1億8300万株で、売買代金は4.3兆ドン（1億8500万ドル）であった。

1億3100万株、売買代金にして2.8兆ドンが相対取引で取引された。

VN指数が955ポイントの底まで下落したことから、VN指数が今後数日間反発をし続けると期待した買いが相対取引を通じて入ったのだろうとMB証券は語った。

外国人投資家の売り越しは700億ドンに縮小した。水曜日の売り越し額は2250億ドンであった。

しかしながら、VN指数は大型株によるところが大きく、反発は一時的で、その恩恵を受けるのは難しいだろうとThanh Cong証券はデイリーレポートで語った。

VN指数の上昇はそれほど力強くない、なぜならば相場の支持材料に欠けており、世界市場が下落する可能性も大いにあるからだと同社は語った。

ハノイ取引所のHNX指数は0.32%ほど下落し、101.66ポイントで取引を終えた。

HNX指数は直近3営業日で1.13%ほど下落した。

出来高は2260万株で、売買代金は3175億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。